

■ 入館料 ■ (税込)

2025年4月1日改定

区分	個人	団体(20名以上)
大人	¥2,500	¥2,200
大学生	¥2,000	¥1,700
高校生*	¥1,000	¥800
小・中学生*	¥500	¥400

*青少年に対する優遇措置について

- 公立学校が休校日となる土曜日は、小中高生の入館料を無料とします。(要学生証提示)
- 小中学校(高校は含まず)の学校教育の一環として教師等が引率し利用する場合は、事前に申込みがあった場合に限り、無料といたします。

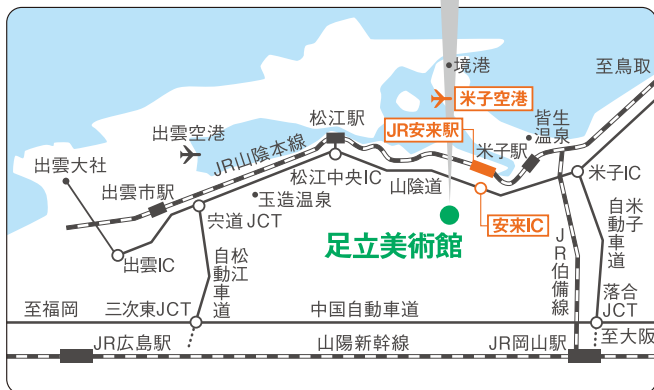
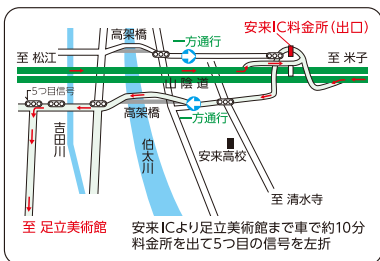
■ 交通のご案内 ■

飛行機 米子空港から車で45分
出雲空港から車で50分

東京から(全日空)米子まで80分
(日本航空)出雲まで90分
名古屋から(FDA)出雲まで60分
大阪から(ジェイエア)出雲まで50分
福岡から(日本エアコミューター)出雲まで65分

J R 安来駅から無料シャトルバスで20分
岡山から(特急やくも)米子まで130分
安来まで140分

車 大阪から3時間30分
(中国自動車道→米子自動車道→山陰道安来IC)
広島・尾道から2時間50分
(中国自動車道→松江自動車道→山陰道安来IC)
(尾道自動車道→松江自動車道→山陰道安来IC)
岡山から2時間30分
(岡山自動車道→米子自動車道→山陰道安来IC)



2025.4



【無料シャトルバス】

JR安来駅より便利な無料シャトルバスを運行しております。
お気軽にご利用ください。



■ 開館時間 ■ 年中無休

4月～9月/AM9:00～PM5:30 10月～3月/AM9:00～PM5:00

[パートナーズカード]

- ◎年会費7,000円で2年間何度でも入館でき、そのほか特典も多数。
- ◎来館時に受付で申込み、即日発行できます。

〒692-0064 島根県安来市古川町320
TEL.0854-28-7111 FAX.0854-28-6733

〈大阪オフィス〉
〒541-0054 大阪市中央区南本町2-4-3 丸全ビル7F
TEL.06-6264-0737



無料シャトルバス時刻表、開催中の展覧会情報などをご確認いただけます。
足立美術館ホームページ <https://www.adachi-museum.or.jp/>
(乗用車・バス無料駐車場あり)



足立美術館

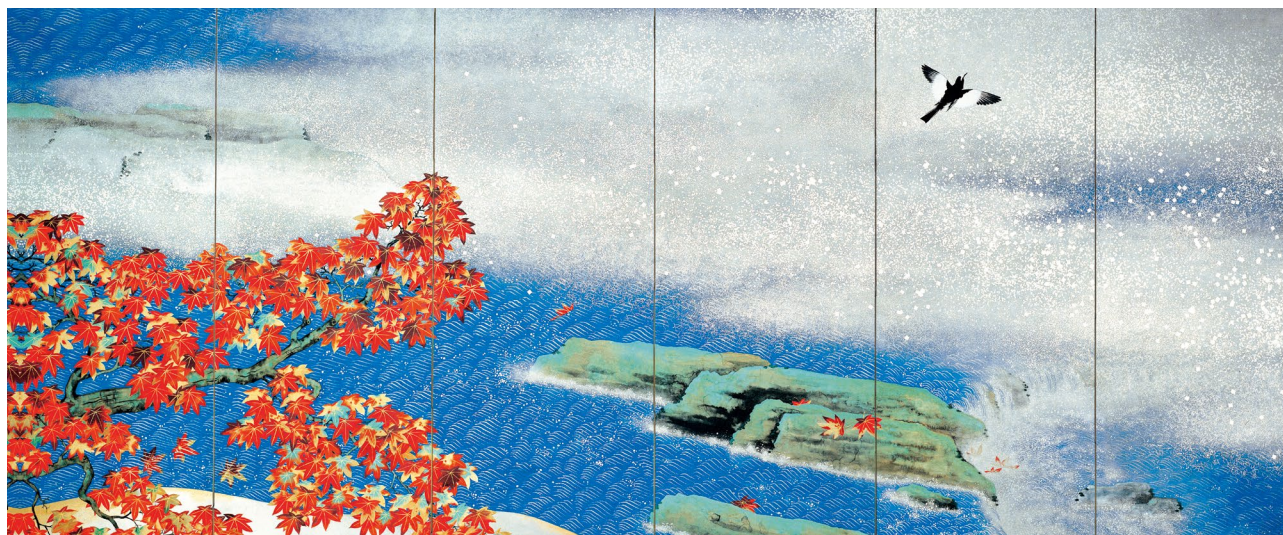


名園の時間 名画の時間

霧雲立ち昇る山並みを背景に、うつろいゆく四季の彩を愛でるひととき。
巨匠たちの筆致に心打たれつつ、静寂に耳を澄ませるひととき。
あたりを見渡せば、まるで自身も一幅の絵画の中に入り込んだかのような快い錯覚をおぼえます。
5万坪におよぶ広大な日本庭園と
横山大観をはじめとする日本画の絶妙なる調和。
ここには、やすらぎという名の心洗われる時間が流れています。



春の枯山水庭



横山大観 紅葉(右隻・昭和6年)

名園

自然美と日本画の調和

「庭園もまた一幅の絵画である」

こう語った創設者・足立全康の想いと、

庭づくりへの情熱を生き生きと伝える5万坪の日本庭園。

枯山水庭、苔庭、池庭、白砂青松庭と、

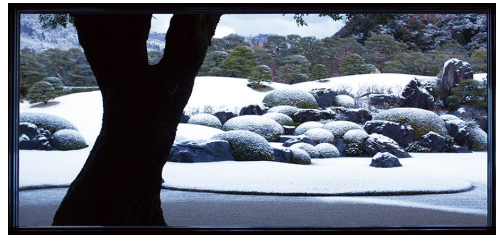
歩みを進めるたびに眼前に広がる閑雅な風情は、

館内の日本画と相まって訪れる人々の心を静かに癒します。

ツツジが可憐な花をつける春、新緑がみずみずしい夏、

紅葉が彩りを添える秋、雪景色の冬。

四季を通じて美しい自然のうつろいをお楽しみいただけます。



生の額絵

窓枠がそのまま額縁に。

四季のうつろい、光や陰影とともに変化する、自然による生きた絵画です。

「庭園|日本|一」

ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング

米国の日本庭園専門誌『数寄屋リビングマガジン/ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング(Sukiya Living Magazine:The Journal of Japanese Gardening)』が全国約1000か所の庭を対象に実施している日本庭園ランキングにおいて2003年から連続して日本一に選出されています。

枯山水庭

自然との調和が美しい足立美術館の主庭。

中央の立石は険しい山をイメージし、

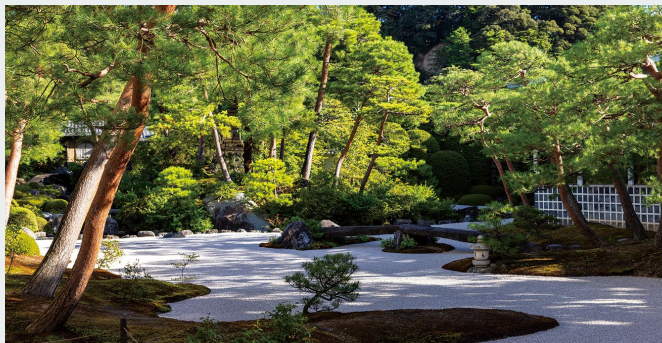
そこから流れる滝水がやがて大河となる、雄大な山水の趣を表しています。



名園のみどころ

白砂青松庭

横山大観の名作《白砂青松》の持つ雰囲気を繊細に表現した庭園。流れを挟んで右に黒松、左に赤松を配し、対照的な調和美を生み出しています。



苔庭

杉苔を主体とした京風の雅な庭園。ゆるやかな曲線を描いた苔の緑と白い砂の対比が美しく、秋には紅葉の赤が一層の彩りを添えてくれます。



亀鶴の滝

大観の水墨画《那智乃瀧》をイメージした、高さ15mの人工の滝。勢いよく流れ落ちる水が、庭園に動きと緊張感を与えています。



池庭

新しい感性と伝統的な手法を用いて造られた庭園。優雅に泳ぐ鯉は、見る人の心に安らぎを与えてくれることでしょう。



生の掛軸

床の間の壁をくり抜き、庭園をあたかも一幅の山水画のようにご覧いただける、足立美術館の名物のひとつ。



名画

近代日本画の代表作を一堂に

足立美術館のコレクションは、
日本画、陶芸、童画、木彫など、総数2000点におよびます。
そのうち日本画は横山大観をはじめ、
竹内栖鳳、川合玉堂、上村松園、橋本関雪、榊原紫峰など、
近代の画壇を彩った巨匠たちの名品を多数所蔵しており、
庭園の四季の変化に合わせて順次紹介しています。
特に、120点を数える大観コレクションは、常時20点前後を公開しています。
庭園の風情とともに、名画の深い味わいをお楽しみください。



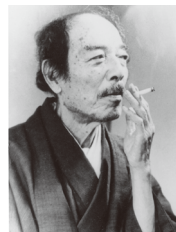
横山大観 雨曇る(昭和15年)



横山大観 海潮四題・冬(昭和15年)



横山大観 紅葉(左隻・昭和6年)



横山大観 (1868~1958)

東京美術学校にて岡倉天心の薫陶を受け、天心、菱田春草らとともに日本美術院創立に参加。新しい日本画の創造に邁進した。のちに同院を再興し、院展を中心に数々の名作を発表。水墨画や濃彩画に異彩を放ち、明治・大正・昭和にわたって、近代日本画壇の礎を築き上げた。



横山大観 無我(明治30年)

主な収蔵作品



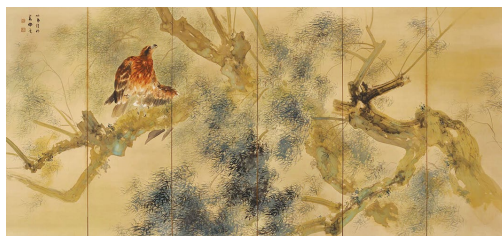
上村松園 娘深雪(大正3年)



安田鞞彦 王昭君(昭和22年)



川端龍子 愛染(昭和9年)



竹内栖鳳 雨霽(左隻・昭和3年)



小林古径 楊貴妃(昭和26年)



柳原紫峰 富貴草(昭和13年頃)



橋本閑雪 唐犬図(右隻・昭和16年頃)

主な所蔵作家

横山大観 竹内栖鳳 橋本閑雪 柳原紫峰
 菱田春草 速水御舟 今村紫紅 小林古径
 菊池契月 西村五雲 安田鞞彦 徳岡神泉

川合玉堂 川端龍子 上村松園
 山元春拳 富岡鉄斎 土田麦僊
 小茂田青樹 前田青邨 山口華楊

伊東深水 鎭木清方 寺島紫明
 村上華岳 入江波光 西山翠嶂

童画の世界

ほのぼのとした温かさが伝わる童画(子供のための絵画)。童画コーナーでは、「キンダーブック」などで活躍した武井武雄、川上四郎、林義雄、鈴木寿雄、黒崎義介、井口文秀の6名の童画家による感性豊かな作品を展示しています。



林 義雄 天使のおひるね



林 義雄 またきてね



林 義雄 なかよし兄弟



林 義雄 四季の森

魯山人館

近代陶芸の巨匠が 創り出した「美」の空間

稀代の料理人であり陶芸家としても知られる北大路魯山人。
足立美術館では、魯山人の作品を約500点所蔵しており、
魯山人館にて順次公開しています。

魯山人は、書や篆刻にはじまり、

陶芸、漆芸、絵画などのあらゆる分野で偉才を発揮し、

食の空間を芸術の領域にまで高めるとともに、

独自の美的世界を築き上げました。

魯山人作品の魅力をじっくりとお楽しみください。



北大路魯山人 (1883~1959)

佳き食物は佳き食器に盛り、佳き掛軸と相応の花器に活けた花の精に包まれて摂るのが本当の食事であるという考えから、自ら作陶に手を染めた稀代の料理人。味覚品格すべてにおいて最高を極めた料亭「星岡茶寮」を宰領し、料理をとりまく総合的な美の世界を構築した。



2020年に新たに開館した『魯山人館』は、
魯山人の作品を鑑賞するために設計されました。
柔らかな光に包まれた展示室で、常時約120点をご紹介します。



椿鉢
(昭和15年頃)



青於里遍籠形花器
(昭和25年頃)



金らむ手津本
(昭和15年頃)



淡海老舗(大正2年)



いろは屏風(昭和28年)

新館

現代の日本画の美を堪能する

足立美術館は、横山大観らが創立、再興に尽力した日本美術院（院展）の画家を中心に、現代日本画の収集にも力を入れています。足立美術館賞受賞作をはじめ、現代を代表する日本画家の優秀作を約350点所蔵し、新館にて紹介しています。また、毎年「再興院展」「春の院展」を開催し、日本美術院同人の新作や院展入選作を一堂に展示しています。近代から現代へと続く日本画の美をご堪能ください。

【足立美術館賞】

足立美術館では、日本美術の発展と将来性ある日本画家を育成する一助になればという思いから、1995年（平成7）に「足立美術館賞」を創設しました。これは毎年秋に開催される日本美術院展覧会（院展）の中から、優秀かつ当館にふさわしい作品を1点選考するもので、同時に受賞作の買い上げを行っています。2005年（平成17）からは、春の院展にも「春の足立美術館賞」を設けています。



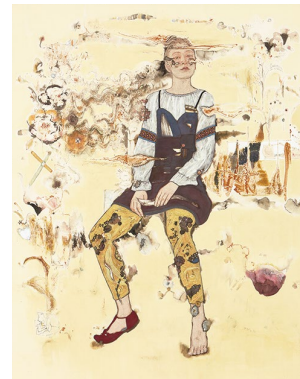
宮廻正明 位想空間(平成29年)



宮北千織 しずき折り(令和元年)



松尾敏男 ヴェネチアよ、さようなら(平成25年)



國司華子 もののね(平成28年)
【第22回足立美術館賞】

館内のご案内

▶ ミュージアムショップ(本館)

名園と名画の感動をいつでも……。絵はがき、色紙、複製画、図録など、当館の庭園や所蔵品をモチーフにした、ここでしか手に入らないオリジナルグッズを販売しています。



▶ ミュージアムショップ(新館)

新館1階の和モダンなショップ。現代日本画のグッズを中心に、陶器、複製画、お菓子なども充実しています。



▶ 喫茶室「翠」

大きな窓から枯山水庭を一望できる喫茶室です。コーヒーや紅茶、デザートなどとともに、ゆったりとしたひと時をお過ごしください。



▶ 喫茶室「大観」

池庭に囲まれた喫茶室。光が差し込む開放的な空間で、お飲み物や甘味メニューの他、島根和牛を使用したビーフカレーなどのお食事もご用意しています。



▶ 茶室「寿楽庵」

招福や延命に良いとされる純金の茶釜で湯を沸かし、お抹茶をお出ししています。椅子席からは、庭園を双福の掛軸としてご覧いただけます。

